




## 災害からいのちを守るためには

～災害を知ろう、災害について地域で考えよう～

11月9日(水)に、田代地区民児協[指定民生委員児童委員協議会]の主催で、日本赤十字佐賀県支部より講師をお招きし、民児協の皆様、まちづくりセンター長様、区長の皆様、社会福祉協議会の皆様、そして5年生児童で、災害について学びました。様々な災害を、自分事として考えるきっかけとなるように、そして、万が一の災害にどんな備えが大事なのかを共有できるように、という願いのもとに行った学びです。

当日は、前半が災害に関する講話、後半がグループワークという形で進められました。講話は、「災害からいのちを守る」ために、という視点で考え、知る内容でした。キーワードは『自助(じじょ)』と『共助(きょうじょ)』です。


**『自助』**  
=自分や家族の身は自分で守る



備える

- 非常用物資の備蓄
- 家具の転倒防止
- 防災に関する知識や経験を身につける

**『共助』**  
=近隣住民や地域の人達が互いに協力し、助け合う



- 配慮が必要な人の避難を手伝う
- 地域の人の避難誘導を行う
- けが人や病人の救護を手伝う

大切な家族を守るために、どんな備えができるのかを家族みんなで話し合っておくこと、普段から地域の方と顔見知りになっておき、言葉を交わせる関係を築いておくこと、そして、災害時はみんなで力を合わせて問題を解決しなければならないため、『コミュニケーション』がとても大事であることなどを丁寧に話していただきました。子どもたちなりに「今の自分にはできることはあるかな」と考えを巡らせていたのではないかと思います。



後半は、地域の方と一緒にグループワークを行いました。ペットボトルを使って作った大きなマーカーをチーム全員の人差し指で支え、息を合わせて図形や絵を描く、という活動です。耳で聞くと簡単にできそうですが、やってみるとなかなか難しいものでした。この活動で必要となるのが、前半の講話にあった『コミュニケーション』の力です。1回目はとにかく描いてみる。すると、息が合わず、簡単な円も描けませんでした。2回目は描く前に「作戦タイム」です。

地域の方と一緒に話し合いをする子どもたちからは、「リーダーになって指示をする人がいたらいい」「役割を分担したらいい」「ペットボトルが倒れそうになったら声を掛け合ったり手伝ったりしたらいい」「慌てないで落ち着いてゆっくりしたらいい」など、様々な声が聞こえてきました。子どもたちが思いついた考えは、まさに災害時に必要な考え方だと思います。作戦タイム後は、1回目よりチームワークよく



上手に描くことができました。そして、みんなで課題を達成したとき、班の輪の中には自然に、笑顔と拍手と嬉し

そうな声が湧いていました。地域の方々と子どもたちの距離も、活動が進むにつれて、徐々に近くなっているように感じました。

災害のときは、互いにコミュニケーションを図り、まわりの人と力を合わせて問題を解決することが必要です。また、実際に災害が発生してしまうと通常的生活の中では予想もできないことが次々と起こるので、地域や家庭(つまり、人と人)が日頃から、助け合う環境・住みやすい環境をつくっておくことが必要です。そういった大事なことに、子どもたちが楽しみながら、自然と気付いていけるような活動プログラムだったのではないかと思います。

コロナ禍ということもあり、なかなか地域の方と子どもたちの関わりの場がもてない状況ではありますが、今回の活動の様子や子どもたちの生き生きとした姿を見て、やはりこのような場を少しずつでも積み重ねていくことが、よりよい地域をつくっていくことにつながるのだと感じました。参加していただいた皆様の子どもたちへの温かいまなざしに感謝いたします。

子どもたちの学びの感想を、一部、裏面に載せています。

ご一読いただき、ご家庭でも、災害に備えることや、『自助・共助』について、是非お話をさせていただきたいと思います。



## ～どんなことを考えたかな～ 子どもたちのふり返りより

◆防災教室では日本赤十字社の方が来てくれました。災害が大きいほど救える人は少なくなることがわかりました。災害の時に自分と家族を守ることを自助、地域の人と協力することを共助ということを知り、自助と共助は大事だと思いました。自助をするためには、事前から準備するとよくて、共助をするためには避難訓練やコミュニケーションを行うことが大切だとわかりました。ドローイングチャレンジでは、みんなでお題の物を描きました。1回目と2回目は上手にできなかったけど、3回目は上手にできました。ドローイングチャレンジを行ったことで仲がよくなり、コミュニケーションもちゃんとでき、協力し合えたと思います。

◆防災教室で災害の学習をしました。日本の中で佐賀県は災害が少ないと聞きました。一日当たりに日赤救護班が対応した患者数は、新潟中越地震 108 人、阪神淡路大震災 63 人、東日本大震災 13 人。大きな災害になればなるほど、対応した人数が減っていてびっくりしました。地域の人たちが協力したら、けがをする人や死者を減らせるんだな、と思いました。ほくも災害に備えて、非常食やハザードマップを確認したいと思います。

◆防災教室ではいろいろなことを教わりました。馬渡さんは、いつ災害が起きてもおかしくない、と言われ、ほくは「いつあるか分からないのか!!」と思いました。馬渡さんは、コミュニケーションが大事とも言っていました。ほくは、コミュニケーションを上手にとれるようにがんばろうと思いました。自助・共助もぜったい覚えておこうと思います。ドローイングチャレンジをやって、全部うまくかけました。みんな協力したおかげだと思います。それに、ドローイングチャレンジは共助じゃないかと思いました。これから災害が起きたときに、いつでも逃げられるように、非常食や避難場所を確認したいと思います。

◆防災教室で班の人と協力して絵をかく活動がありました。やってみて、災害の時も、こんなふうにみんな協力しないと命を落とす可能性があるかもしれないと思ったし、協力してしかできないこともあるんだなあと、この活動をもとに思いました。日本赤十字社の方のお話を聞いていると「自助」「共助」という言葉が出てきました。「自助」は自分で自分の命を守ることや自分で災害に備えることだとわかりました。「共助」は助け合って命を守っていくことや、避難を手伝うことだとわかりました。この話をもとに考えてみると、家には非常食が少ししかないので備えようと思ったし、できる限り高齢者の方を優先して、災害が起きたときには「共助」しようと思いました。

◆災害にも地震や台風などいろいろありました。これまでに起きた災害で、一日当たりに日赤救護班が対応した患者数は、災害が大きいほど減っていて、なぜだろうと思いましたが、大きな災害になるほど救える命は減るとわかりました。なので、自助や共助が大切だとわかりました。ドローイングチャレンジでは、地域の人と話し合ったりして、○と☆とカメを描きました。○と☆はうまく描けなかったけど、カメはうまく描けました。協力は大切だと分かったし、協力するためにはコミュニケーションも必要だと思いました。もし災害が起きたときのために、避難所の確認をしたり、避難の準備をしたりしたいと思います。

◆今日の総合の時間で、災害のことを学びました。赤十字社の方がお話をし

てくれました。佐賀県や他の県の災害を話や、「自助」と「共助」の話を知りました。「自助」は災害が起きたとき、自分のことは自分で守ることで、「共助」はまわりの人が助け合うことです。そのあとに、ドローイングチャレンジをしました。ペットボトルの先にペンが付けてあり、みんなの人差し指を使って絵をかきます。初めてはけど、みんなと相談したり工夫したりしてかきました。この活動で共助ができたと思います。最後には災害食などをもらいました。これからは家族などに相談して、災害に備えておきたいです。

◆今日、民生委員の方々と区長さん、赤十字の方々に来てもらいました。はじめに、赤十字社の馬渡さんの話を聞きました。東日本大震災や阪神淡路大震災などの話を聞いて、私はびっくりしました。そこで「自助」と「共助」についても教えてもらいました。「自助」は自分で自分の命を守る、「共助」はまわりの人と助け合う、ということを知りました。次に、ドローイングチャレンジをしました。最初、私は、協力して声をかけ合えばいいのかなって思っていました。けれど、それだけじゃないと思いました。それは、「共助」の練習かなとおもいました。一緒にいた区長さんも「共助」のことを言っていました。これから、「自助」と「共助」をがんばろうと思いました。

◆今日の勉強では災害について学びました。楽しいゲームをしたり、お話を聞いたりしました。お話では、災害が大きいほど助けるのが難しいことを知りました。もし被災したら、みんなで助け合う「共助」が大切なんだなと思いました。自分のことは自分で守る「自助」も大切だと思いました。他には、ドローイングチャレンジをしました。みんな協力してできたのでよかったです。このゲームでは、協力と話し合いを知りました。この力を生かしたいです。ボランティアの人もやさしく教えてくれました。もし災害にあったら、「自助・共助」を心がけていきたいです。近所の人とも仲良くしていきたいです。

◆今日、大切な言葉を学びました。自助と共助です。自助は、自分のことは自分で守るということです。共助は、まわりの人と助け合うということでした。この言葉を聞いて、みんな協力することが大切だと思いました。ドローイングチャレンジでは、カメの絵を上手にかくことができました。○や☆の練習では、上手くかけませんでした。しかし、みんなで話し合ったり、協力したりすることで上手になったと思います。災害食ももらいました。災害が起きたときに非常食として使おうと思います。この「災害について知ろう」では、いろいろなことを学びました災害のときに役に立つといいと思います。

◆今日の授業で災害について学びました。赤十字社の馬渡さんから、自助と共助の話を聞きました。ドローイングチャレンジでは、自分の意見をたくさん言い、他の人の意見をよく聞きました。最初の○をかくのは、全くみんなと話し合っていなかったの、全然うまくできなかったけど、2 回目の☆をかくのは、少し話し合ったので、まあまあ上手にかけました。最後のカメはいっぱい話し合えたので、上手にかけました。ドローイングチャレンジをして共助について学びました。もし、田代で災害が起きたら、自助と共助をしていきたいと思いました。



